

令和6年度 横浜市水道事業会計及び工業用水道事業会計 決算(速報値)の概要について

水道事業会計

※詳細は別添資料をご確認ください

水道料金収入は2億円の微増、純利益は71億円を確保

(1) 水道料金収入

6年度の水道料金収入は、前年度に比べて税込で

2億円(0.3%)増の768億円となりました。

使用水量は、主にご家庭で使われる口径13～

25mmで、前年度に比べて78万m³(0.2%)減少

しましたが、大型商業施設や宿泊業など主に事業用で使われる口径40mm以上では46万m³(0.8%)

増加しました。

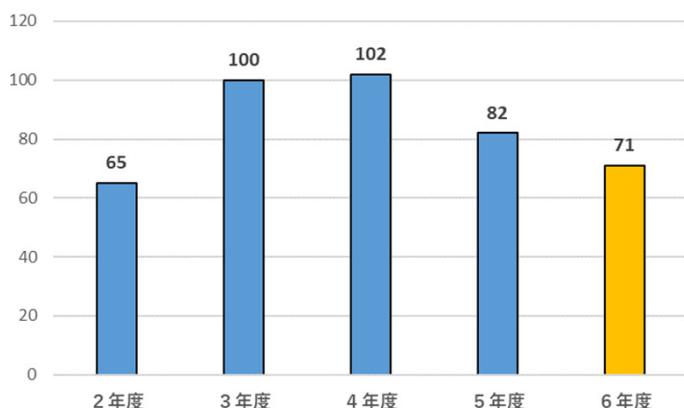
○ 水道料金収入の状況(税込み)

(単位:億円)

区分	6年度	5年度	増△減
水道料金収入 (使用水量)	768 (3億7,249万m ³)	766 (3億7,281万m ³)	2 (△32万m ³)
うち口径13～25mm (使用水量)	528 (3億1,559万m ³)	529 (3億1,637万m ³)	△1 (△78万m ³)
うち口径40mm以上 (使用水量)	240 (5,690万m ³)	237 (5,644万m ³)	3 (46万m ³)

○ 純利益の推移

(単位:億円)



(2) 純利益と累積資金残額

純利益は、前年度に比べて11億円減少したものの、71億円を確保しました。これは、料金収入が2億円増加した一方で、支出においては、労務単価の引き上げや物価上昇等により修繕費が11億円増加したことによるものです。

また、累積資金残額は、前年度とほぼ同額の250億円となりました。

(3) 企業債

西谷浄水場再整備事業の進捗に伴い施設更新費用が増加したため、企業債残高は前年度に比べて109億円増加し、1,765億円となりました。

○ 財政状況

(単位:億円)

	6年度	5年度	増△減
純利益	71	82	△11
累積資金残額	250	252	△2
企業債残高	1,765	1,656	109

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



工業用水道事業会計

(1) 工業用水道料金収入

6年度の工業用水道料金収入は、ほぼ前年並みの27.7億円となりました。

(2) 純利益と累積資金残額

純利益は、前年度に比べて0.7億円減少し、5.7億円を確保しました。

また、累積資金残額は、前年度に比べて1.4億円増加し、31.4億円となりました。

(3) 企業債

施設更新費用が増大したため前年度に比べて5億円増加し、企業債残高は42.7億円となりました。

○ 財政状況

(単位:億円)

	6年度	5年度	増△減
工業用水道料金収入	27.7	27.8	△ 0.1
純利益	5.7	6.4	△ 0.7
累積資金残額	31.4	30.0	1.4
企業債残高	42.7	37.7	5.0

災害に強い水道（強靭な水道を目指して）

・大規模災害時でも給水を確保するため、次のような事業を進めています。

● 基幹施設の更新・耐震化

浄水場や配水池などの基幹施設の更新・耐震化を計画的に進めています。更新期を迎える西谷浄水場については、耐震化とともに水源水質の悪化や水利権水量の全量処理に対応するため再整備に取り組んでいます。



西谷浄水場の再整備

● 送配水管の更新・耐震化

送配水管（総延長約9,300km）の更新・耐震化にあたっては、管の材質ごとに想定耐用年数を設定した上で、布設年度や埋設状況、地震時の被害想定など総合的に勘案し、優先順位を付けて進めています。



大口径管布設工事

● 重要施設につながる管路の上下水道一体での耐震化

避難所や医療施設などの重要施設につながる水道管を優先して耐震化を進めています。



耐震給水栓

● 耐震給水栓の整備

応急給水施設が設置されていない地域防災拠点等を対象に、総務局や教育委員会事務局と共同で、特別な作業なく普段と同様に水道水が確保できる「耐震給水栓」の整備を進めています。

お問合せ先

(水道事業会計に関すること)

水道局 経理課長

田中 美枝子

Tel 045-671-3129

(工業用水道事業会計に関すること)

水道局 工業用水課長 尾和 弘朗

Tel 045-954-3331



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



別添

令和6年度決算速報

横浜市水道事業会計

横浜市工業用水道事業会計

【資料編】

令和7年8月
横浜市水道局

目 次

水道事業会計

1	水道料金収入の状況	1
	有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況	
2	企業債残高の状況	1
	企業債残高の推移	
3	関連資料　　水道事業会計　決算概要表	2
	損益計算書	3
	貸借対照表	3

工業用水道事業会計

4	関連資料　　工業用水道事業会計　決算概要表	4
	損益計算書	5
	貸借対照表	5

水道事業会計

1 水道料金収入の状況

《有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況》

	6年度 ①	5年度 ②	増減①－②	増減率(%)
有収水量(m ³)	372,491,438	372,813,961	△322,523	△0.09%
給水戸数(戸)	1,968,852	1,952,862	15,990	0.82%
水道料金収入(百万円)	76,820	76,553	267	0.3%

※有収水量は水道料金収入の対象となった水量です。

2 企業債残高の状況

《企業債残高の推移》

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
企業債残高 (億円)	1,645	1,607	1,562	1,539	1,524	1,543	1,546	1,583	1,656	1,765
水道料金収入に対する 企業債残高の割合	2.53倍	2.49倍	2.41倍	2.38倍	2.39倍	2.44倍	2.30倍	2.28倍	2.38倍	2.53倍

関連資料

令和6年度水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税込）

(単位：百万円、%)

区分		令和6年度決算額		令和5年度決算額		増△減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
収益 の 支 出 支	水道料金	76,820	81.8	76,553	82.2	267	0.3
	他会計繰入金	6,666	7.1	6,420	6.9	246	3.8
	浄水受託収益	1,730	1.8	1,734	1.9	△4	△0.3
	水道利用加入金	1,342	1.4	1,328	1.4	14	1.0
	長期前受金戻入	4,765	5.1	4,869	5.2	△104	△2.1
	その他の特別利益	2,425	2.6	2,251	2.4	174	7.7
	計	93,963	100.0	93,156	100.0	807	0.9
	人件費	11,703	14.1	11,374	14.0	329	2.9
	物件費等	28,083	33.9	26,779	32.8	1,304	4.9
	動力費	2,967	3.6	2,936	3.6	31	1.0
資本的 の 支 出 支	薬品費	563	0.7	540	0.7	23	4.4
	修繕費等	13,076	15.7	11,998	14.7	1,078	9.0
	委託料	7,473	9.0	7,401	9.1	72	1.0
	消費税及び地方消費税	56	0.1	433	0.5	△377	△87.1
	その他の企業団受水費	3,948	4.8	3,471	4.2	477	13.7
	企業団受水費	16,985	20.4	17,037	20.9	△52	△0.3
	減価償却費等	24,189	29.1	24,282	29.8	△93	△0.4
	支払利息等	2,117	2.5	2,047	2.5	70	3.4
	計	83,076	100.0	81,519	100.0	1,557	1.9
	収益的收支差引	10,887	—	11,636	—	△749	△6.4
資金 の 支 出 支	消費税等調整額	3,831	—	3,484	—	347	10.0
	純損益	7,056	—	8,152	—	△1,096	△13.4
	企業債	22,788	79.9	18,405	81.9	4,383	23.8
	一般会計出資金	2,161	7.6	2,022	9.0	139	6.9
	工事負担金等	1,208	4.2	1,137	5.1	71	6.2
	国庫補助金等	2,351	8.3	902	4.0	1,449	160.7
	その他の企業	7	0.0	7	0.0	0	△1.5
	計	28,515	100.0	22,473	100.0	6,042	26.9
	建設改良費	45,922	79.3	42,006	79.0	3,916	9.3
	基幹施設整備事業費	16,780	29.0	12,967	24.4	3,813	29.4
資金 の 支 出 支	配水管整備事業費	27,422	47.4	27,220	51.2	202	0.7
	その他建設改良費	1,720	3.0	1,819	3.4	△99	△5.4
	企業債償還金	11,943	20.6	11,096	20.9	847	7.6
	投資	19	0.0	36	0.1	△17	△48.6
	計	57,883	100.0	53,138	100.0	4,745	8.9
	資本的收支差引	△29,369	—	△30,665	—	1,296	4.2
	純損益	7,056	—	8,152	—	△1,096	—
	消費税等調整額	3,831	—	3,484	—	347	—
	当年度分損益勘定留保資金	20,333	—	20,250	—	83	—
	資本的收支差引再計	△29,369	—	△30,665	—	1,296	—
資金 の 支 出 支	退職手当支給額	△913	—	△151	—	△762	—
	前年度からの繰越資金	4,996	—	7,380	—	△2,384	—
	翌年度への繰越資金	△6,143	—	△4,996	—	△1,147	—
	計（当年度資金收支）	△210	—	3,455	—	△3,665	—
	総差引	△210	—	3,455	—	△3,665	—
	前年度末資金残額	25,233	—	21,778	—	3,455	—
	累積資金残額	25,023	—	25,233	—	△210	—

(※) 金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。

関連資料

令和6年度横浜市水道事業損益計算書（要旨）

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 百万円)

1	営業 収 益	79,134
	うち 水道料金収入	(69,843)
2	営業費用	<u>76,800</u>
	営業利益	2,334
3	営業外収益	6,726
4	営業外費用	2,200 4,526
	経常利益	6,861
5	特別利益	<u>195</u>
	当年度純利益	7,056
	前年度繰越利益剰余金	0
	その他未処分利益剰余金変動額	<u>7,267</u>
	当年度未処分利益剰余金	<u>14,323</u>

令和6年度横浜市水道事業貸借対照表（要旨）

(令和7年3月31日)

(単位 百万円)

科 目		金額	科 目		金額
1 固定資産		647,347	1 固定負債		182,807
(1) 有形固定資産		561,759	2 流動負債		53,786
(2) 無形固定資産		8,788	3 繰延収益		67,391
(3) 投資その他の資産		76,800			
2 流動資産		69,018	負 債 合 計		303,984
			1 資本金		377,726
			2 剰余金		34,656
			(1) 資本剰余金		2,366
			(2) 利益剰余金		32,290
			うち当年度未処分利益剰余金		14,323
			資本合計		412,381
資産合計		716,365	負債・資本合計		716,365

※金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。

したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。

関連資料

令和6年度工業用水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税込）

(単位：百万円、%)

区分		令和6年度決算額		令和5年度決算額		増△減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
収益的 収入	工業用 水道料金	2,774	91.0	2,776	91.3	△2	△0.1
	長期前受金戻入	186	6.1	191	6.3	△5	△2.7
	その他の	88	2.9	73	2.4	15	20.7
	計	3,048	100.0	3,040	100.0	7	0.2
支 出	人件費	242	10.7	223	10.2	20	8.8
	物件費等	1,038	46.0	982	45.1	56	5.7
	負担金	992	44.0	929	42.7	63	6.8
	修繕費等	1	0.0	1	0.1	0	△34.7
	その他の	45	2.0	51	2.3	△7	△12.7
	減価償却費等	932	41.3	931	42.8	1	0.2
	支払利息等	44	2.0	42	1.9	3	6.5
	計	2,257	100.0	2,177	100.0	80	3.7
支 引	収益的 収支差引	791	—	863	—	△73	△8.4
	消費税等調整額	218	—	220	—	△2	△1.0
	純損益	573	—	643	—	△71	△11.0
資本的 収入	企業債	736	71.7	437	77.8	299	68.4
	国庫補助金等	291	28.3	125	22.2	166	132.7
	その他の	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	1,027	100.0	562	100.0	465	82.7
支 出	建設改良費	2,718	91.8	2,451	90.9	267	10.9
	工業用水道施設整備事業費	2,599	87.8	2,089	77.4	510	24.4
	その他建設改良費	119	4.0	362	13.4	△243	△67.1
	企業債償還金等	241	8.2	246	9.1	△5	△2.0
	計	2,959	100.0	2,698	100.0	262	9.7
資本的 収支差引		△1,932	—	△2,136	—	203	—
資金 収支	純損益	573	—	643	—	△71	—
	消費税等調整額	218	—	220	—	△2	—
	当年度分損益勘定留保資金	770	—	745	—	25	—
	資本的 収支差引再計	△1,932	—	△2,136	—	203	—
	退職手当支給額	△18	—	△3	—	△15	—
	前年度からの繰越資金	1,340	—	1,189	—	151	—
	翌年度への繰越資金	△817	—	△1,340	—	522	—
	計(当年度資金収支)	133	—	△680	—	814	—
前年度末資金残額		3,004	—	3,684	—	△680	—
累積資金残額		3,137	—	3,004	—	133	—

(※) 金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。

関連資料

令和6年度横浜市工業用水道事業損益計算書（要旨）

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 百万円)

1	営業収益	2,536
	うち 工業用水道料金収入	(2,522)
2	営業費用	<u>2,119</u>
	営業利益	417
3	営業外収益	202
4	営業外費用	<u>47</u> <u>156</u>
	経常利益	573
	当年度純利益	573
	前年度繰越利益剰余金	0
	その他未処分利益剰余金変動額	<u>440</u>
	当年度未処分利益剰余金	<u>1,012</u>

令和6年度横浜市工業用水道事業貸借対照表（要旨）

(令和7年3月31日)

(単位 百万円)

科 目		金額	科 目		金額
1 固定資産		25,506	1 固定負債		4,338
(1) 有形固定資産		25,495	2 流動負債		992
(2) 無形固定資産		10	3 繰り返し収益		3,998
(3) 投資その他の資産		1			
2 流動資産		4,717	負 債 合 計		9,329
			1 資本金		17,177
			2 剰余金		3,717
			(1) 資本剰余金		140
			(2) 利益剰余金		3,576
			うち当年度未処分利益剰余金		1,012
資産合計		30,223	資本合計		20,894
			負債・資本合計		30,223

※金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。

したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。